

# 琉球大学学術リポジトリ

## 創刊にあたって

|       |  |
|-------|--|
| メタデータ | 言語:<br>出版者: 琉球大学法文学部<br>公開日: 2010-07-07<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 町田, 宗博, Machida, Munehiro<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/17428">http://hdl.handle.net/20.500.12000/17428</a>                            |

## 創刊にあたって

幾たびかの改組を経て、2008年4月に法文学部人間科学科地理歴史人類学専攻課程が誕生しました。たいへんシンプルな名称です。名称だけで高等学校の先生方をはじめ世間の方々に、教員構成や教育内容をおよそイメージしていただけることはたいへん有難く、助かっております。言うまでも無く、組織は改まっても、研究・教育を担う教員の知識や思考が一朝一夕に改まるものではありません。私どもは、この組織の改編によってどのような教育が学生にとって有意かつ有効であり、我々にとってそれが可能か否かを議論しました。議論を重ね、地理学・歴史学・人類学のそれぞれの分野の考えやスキルを、入学するすべての学生が共有できる基盤を工夫しました。現在、その基盤に立ってそれぞれの専門を学んでいける教育カリキュラムを構築し、それを実践しつつある段階です。

このような明示的な教育に対する議論は、暗示的に地理学・歴史学・人類学の分野に属する教員相互の位置や相関にも深く関わってきています。おそらく、この専攻課程に属する総ての教員は、個人的な相性の違いを超えて、これらの分野が一緒の枠に収まっていることに理屈ぬきの「おもしろさ」を感じています。この専攻課程の誕生以来、フィールドワークに出かける長期の休業期間を除き、週1回の専攻会議が継続しています。会議継続は、実務の必要性とともに、この「おもしろさ」が原動力となっているのだろうとたびたび思うことがあります。この会議の中で、「専攻課程で紀要を出しては？」という話題が出るようになりました。すでに『琉球大学法文学部人間科学科紀要 人間科学』も出ていることから、何度か話題として終わっていました。それが去年度の終わりころでしたでしょうか「専攻課程で紀要を出そう」という議題となりました。他の専攻課程とも諮り、従来の紀要の別冊として『地理歴史人類学論集』がここに創刊されました。三つの分野が一緒になった「おもしろさ」を形にしたいという思いが、この論集を生み出したのです。

ステレオタイプ化した大学紀要に対する評価を重々承知で、専攻教員の意思でこの論集を刊行します。査読制も導入してみました。共同研究の特集や調査報告、資料、翻訳など内容やスタイルについても様々に議論をしました。今後、誌上で様々な試みがなされると思いますが、これらの分野に属する地理学、歴史学、文化人類学、民俗学、考古学の伝統分野の教員が、お互いに組み合って新しい知見を世にお届けできればと念ずるしだいです。

2009年10月

2009年度地理歴史人類学専攻課程主任 町田 宗博